



別添 1

2020年事業報告

1. 総括

AGGにおいて日本を統括する中央競技団体として、一般社団法人日本AGG連盟JFAGG(以後、JFAGG)を2019年11月22日付けで設立し、法人格を有して日本におけるAGGの普及に努め、さらなる発展をめざし2020年は新たに活動を開始する予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に見舞われ、2020年3月12日WHO世界保健機関によるパンデミック宣言により、あらゆるイベントが中止となり、JFAGGの活動もやむを得ず延期または中止となりました。

AGGは団体競技であるため、コロナ禍において実際の大会を開催するには状況的に困難でしたが、法人設立以降、大きな期待をもってAGGに関わった多くの選手、指導者、審判員の人々に報いるために、2020年12月20日(日)にJFAGG登録者を対象にAGG樟蔭カップオンライン大会を開催し、日本、韓国、カザフスタン、マレーシア、ニュージーランドから5カ国46チームが参加しZoomによるライブでのオンライン大会を成功させました。コロナ禍から生まれた新たな方法による大会運営は、利用価値が非常に高く、今後のAGGの普及発展に大いに影響を与えたと考えられました。また、参加者からの反響も大きく、今後も引き続きオンライン大会を開催してほしいとの意見が寄せられました。

同日、オンライン大会終了後には、JFAGG登録者およびAGGに興味のある人を対象にしたショートプログラム実技講習会をオンラインにて開催しました。ショートプログラムは新しい種目であるため、そのルールや知識はまだ日本国内に定着しておらず、選手や指導者を対象にした実技講習会の開催は急務でした。また、人との接触を含むリフトやコラボレーションの使用がないショートプログラムは、といわけコロナ禍においては取り組みやすい種目であるため、日本国内でのショートプログラムの普及を目的としてオンラインによる実技講習会の開催に至りました。今後は、オンライン講習会にも力を入れて行く予定です。

新型コロナウイルス感染症に泣いた2020年ではありましたが、また新たな方法を構築し、斬新な気づきのある2020年でした。今後のAGGの普及に大いに活用していきます。

2. スポーツ団体ガバナンスコード登録手続き完了

一般社団法人日本AGG連盟JFAGGとして、スポーツ庁策定のスポーツ団体ガバナンスコードの登録手続きを2020年12月12日に完了しました。この手続きを完了することにより、今後は公的な助成金申請や、日本オリンピック委員会JOCまたは日本スポーツ協会JSPOへの加盟も可能になります。AGGというスポーツ競技において国内を統括するスポーツ団体としての自覚と責任を強く持ちながら、法人理念を守り適切な運営を行っていきます。

3. JFAGG ホームページ開設

一般社団法人日本AGG連盟JFAGGのホームページを新たに開設しました。当初は無料版にて開設しましたが、スポーツ団体ガバナンスコード登録のため有料版へ更新し、情報開示書類の添付が可能になりました。今後は、JFAGG登録書類や大会要項をホームページへ掲載し、利便性を高めていきます。



2021年2月11日(木)

4. JFAGG ロゴ作成

これまでは法人格を有していなかったため、ロゴの作成は控えていましたが、法人格を有したことから、JFAGG ロゴの必要性が高まり、このたびロゴを作成しました。日本国旗と AGG の躍動感をイメージしつつ、JFAGG の調和、さらなる繁栄と定着をテーマにロゴを作成しました。



5. JFAGG 顧問税理士の依頼

一般社団法人として適切な税務申告を行うため、ふるさと司法事務所の高野克洋司法書士の紹介で荒巻税理士法人代表の荒巻政文税理士および中谷浩子税理士に JFAGG の税務処理を担当していただくことになりました。

6. 2021 年社員総会日時決定

日時：2021年2月11日(祝・木) 13:00-15:00

場所：樟蔭学園記念館 1F